

今号の名品

「国宝 聖徳太子絵伝」

東京国立 博物館 ニュース



特別展&特別企画 Information

「特別企画 文化財よ、永遠に」／「御即位記念特別展 正倉院の世界」

「特別展 人、神、自然―ザ・オール・サーニ・コレクションの名品が語る古代世界―」／「日本書紀成立1300年特別展 出雲と大和」……2

「特集 天皇と宮中儀礼」／「特集 平家納経模本の世界」

「特集 近世日本と外国文化」……4、5

トーハクくんのなるほトーハク……5／法隆寺宝物館クローズアップ……6

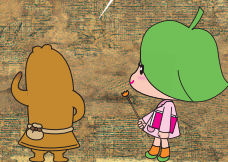
総合文化展Pick up! (本館／東洋館／平成館／法隆寺宝物館／黒田記念館)……7、11

トーハクの調査研究④……9／みどりのライオン(教育普及事業)……12、13

イベント&インフォメーション……14、15／2019年10・11月の展示・催し物……16



3ページに
掲載してるほ!



特別展

「人、神、自然—ザ・アール・サーニ・コレクションの名品が語る古代世界—」

現代アートにも通じる古代世界

古代の人々は、自分たち自身をどのように表現したのでしょうか。神々や死後の世界、自然界をどのように認識したのでしょうか。古代の工芸品には、当時の人々の意識や世界観が投影されています。

本展は、カタール国の王族であるシェイク・ハマド・ビン・アブドラ・アール・サーニ殿下が収集されたザ・アール・サーニ・コレクションのなかから、世界各地の古代文化が生み出した工芸品117件が特別に出品されます。「人」「神」「自然」の3つの展示テーマに沿って古代世界を巡っていきましょう。人物や精霊の姿を表した小像、豪華な装飾品、動物を象った作品など、普段とは一味違う工芸品が並ぶ東洋館3室をお楽しみください。(小野塚拓造)



女性像
「スターゲイザー」
大理石ほか
アナトリア半島西部
前3300~前2500年頃
現代アートを思わせる造形ですが、およそ5000年前に作られたものです



王像頭部
赤碧玉 エジプト
前1473~前1292年頃

総合文化展観覧料および開催中の特別展観覧券(観覧当日に限る)でご覧いただけます。

11月6日(水)

2020年
2月9日(日)
東洋館3室

住友財団修復助成30年記念
特別企画

「文化財よ、永遠に」
およそ75年ぶりに日本へ里帰り

この阿弥陀如来立像は頬がふっくらして、鋭い視線が特徴です。全体に金の絵具を塗り、衣には細く切った金箔で文様を表します。鎌倉時代の仏師、快慶がつくった「安阿弥陀様」とよばれる表現にしたがう優品です。明治35年に当館が購入し、昭和17年にカンボジアの彫刻などと交換するために、ベトナムにあったフランスの極東学院に贈られました。交換品は、長らく所在不明でしたが、平成26年に九州国立博物館の調査によって左足先裏に当館の所蔵ラベルが発見され、住友財団の助成で修復されました。

(丸山士郎)



阿弥陀如来立像
鎌倉時代・13世紀
ベトナム国立歴史博物館蔵
日本とベトナムの文化交流大使です

総合文化展観覧料および開催中の特別展観覧券(観覧当日に限る)でご覧いただけます。

10月1日(火)

12月1日(日)
本館
特別4室・特別5室

日本書紀成立1300年

特別展「出雲と大和」

出雲の青銅器群、東京に大集結!

『日本書紀』成立1300年を記念して行われる特別展です。本展では神話や古代史の舞台の中心となった出雲と大和の名品を展示し、古代日本の成立やその背景に迫ります。

本展の見どころのひとつが、出雲における祭祀の源流ともなった加茂岩倉遺跡や荒神谷遺跡から出土した弥生時代の青銅器群です。まとまったかたちでの出品は東京では20年ぶり。この機会を逃さずにぜひご覧ください。(品川欣也)

2020年
1月15日(水)

3月8日(日)
平成館
特別展示室

御即位記念特別展

「正倉院の世界」

—皇室がまもり伝えた美—
色鮮やかなシンメトリーの世界

本展では正倉院宝物のなかから、染織美術の代表作が多く展示されます。「紺夾纈絶几褥」もそのひとつで、仏に供物を捧げる時、机の上に敷かれた作品です。夾纈とは2枚の木の板に文様を対称に刻み、これに絹織物を挟んで強くしめ、板どうしが密着した部分だけ染料が入らないようにする技法のこと。大きく枝葉を広げた果樹の下には蓮華座に乗った水鳥が鮮やかな色彩で左右対称に表されています。絢爛豪華な奈良時代の染織美術の世界に、ぜひ会いに来てください。(三田寛之)

10月14日(月・祝)

11月24日(日)
平成館
特別展示室



紺夾纈 絶几褥
奈良時代・8世紀 正倉院宝物
展示期間:11月6日(水)~24日(日)
夾纈は平安時代以降に途絶えた幻の染色技法。この褥はその最高傑作です

観覧料:一般1,700円(1,500円/1,400円)、大学生1,100円(900円/800円)、高校生700円(500円/400円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展覧会公式サイト: <https://artexhibition.jp/shosoin-tokyo2019/>

関連事業 事前申込制

記念講演会「古代の出雲と大和—『日本書紀』成立1300年—」

日時:2020年1月18日(土)
13:30~15:00(13:00開場予定)
講師:佐藤信(東京大学名誉教授)

会場:平成館大講堂
定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。講演会当日以前に使用済みの半券でも可。その場合は別途、当日の入館料が必要)

申込方法:往復はがきでお申込みください。「往信用裏面」に、(1)参加者全員(最大2名まで)の氏名・ふりがな、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申込みください。なお、申込はお1人(または1組)につき1通までです。

申込先:〒113-8730 日本郵便株式会社本郷郵便局 私書箱16号
特別展「出雲と大和」講演会係行
申込締切:11月25日(月) 必着

*10月1日(火)の郵便料金改定に伴う、往復はがきの切手不足にご注意ください。



銅剣・銅鐔・銅矛
弥生時代・前2~前1世紀
島根県出雲市 荒神谷遺跡出土
文化庁蔵(島根県立古代出雲歴史博物館保管)
「定説を覆す」、「教科書を書き換える」とも評価される弥生時代を代表する青銅器群です

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展覧会公式サイト: <https://izumo-yamato2020.jp/>

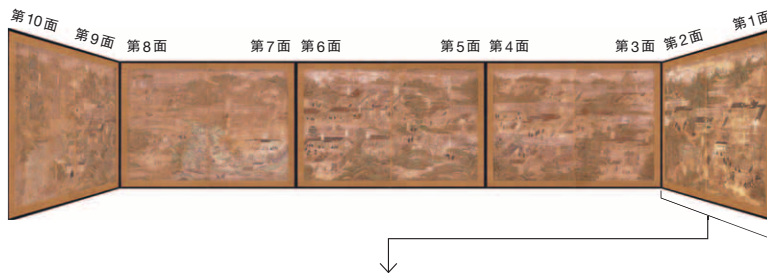
今号の名品

2019年10月-11月号

国宝 聖徳太子絵伝

10月29日(火)～11月24日(日)
法隆寺宝物館第6室

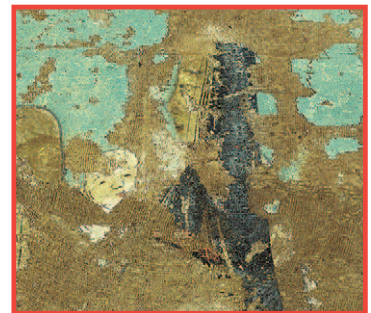
千年前の最高傑作と、肉眼を超えた鑑賞体験！



●聖徳太子絵伝 秦致貞筆 平安時代・延久元年(1069) (第1・2面)



聖徳太子11歳、雲のようにふわりと空中に浮かびます



聖徳太子1歳、抱っこをされて嬉しそうに微笑んでいます

聖徳太子(574～622)は、日本に仏教が公式に伝来した頃からほど近い時期に活躍しました。四天王寺や法隆寺など多くの寺院を建立し、冠位十二階や十七条憲法の制定に関わり、遣隋使の派遣など政治面での活躍のほか、複数の人の話を同時に聞き分けたなどの超人的な逸話も多く伝えられています。

そんな聖徳太子の生涯をまとめた伝記『聖徳太子伝暦』が10世紀に成立し、それを絵画化した絵伝も特に中世を中心に数多く制作されました。

それらの絵伝のなかで現存最古にして、最大規模、最高傑作の絵伝が、この法隆寺絵伝由来の国宝の作品です。描かれたのは今から約1000年前の1069年。

大きな特徴は絵殿という建物の内壁にコの字型に嵌め込まれ、絵伝を見る人が聖徳太子の物語に包み込まれるような空間をつくりだしていた点です。さらに、描かれた各エピソードの舞台となった場所と実際の場所の地理的位置、位置関係がほぼ対応する工夫がされていることで、絵画空間と現実空間とがつながり、リアリティをもつて物語世界を体験できるようにしていることは特筆すべき点です。

かつて聖徳太子の宮殿があった斑鳩の地を中心として、向かって右に飛鳥、向かって左に難波、更に海を挟んで中国の衡山までを見渡す雄大な構図は、山並みや川なども実際の配置を踏まえて描かれています。

また、大きな画面だからと言って細かいところが疎かになっているわけではありません。人物の表情などとても細やかな描写がされています。例えば東側の面にあたる第1面の右下は、生まれたばかりの太子を沐浴させ、天皇、皇后、皇子(太子の父)、妃(太子の母)の順に抱いていく場面です。

でも展示室ではほとんど見えません。細かい描写なので離れると見づらいうえ、画面表面の絵具がほとんど落ちていきます。また記録から知られるだけでも4回も元の図様のうえから彩色がされているので、剥落箇所と相まってモザイク画のようになっています。

そこで、10月29日(火)～11月24日(日)まで大型8Kモニターを使った鑑賞ツールを法隆寺宝物館資料室(中2階)に設置します。新撮の超高精細画像を8Kで映すことで、通常では見落としてしまうような表情までははっきり追えることができます。全図から部分へ、部分から全図へ、自分の感じるままに見てもいいですし、年齢順に見ていくのでも構いません。自身の操作で拡大縮小が自由自在。ぜひ、この機会に8K画像で隅々までじっくりご鑑賞ください。

(沖松健次郎)

宮中の儀式や行事を知る

特集 天皇と宮中儀礼

平成館企画展示室 10月8日(火)～2020年1月19日(日)

天皇を中心とする宮廷社会では、さまざまな儀式や行事が執り行われてきました。こうした宮中儀礼の多くは平安時代に発達し、断絶と復興を経て、江戸時代末まで連続して行われてきました。宮中儀礼は過去の先例を重視したため、絵画作品や歴史資料など、多くの記録に残されています。

本特集では、平成から令和への御譲位、御即位により関心の高まる天皇と宮中儀礼を5つのテーマから紹介します。展示作品のなかでも特に注目されるのが悠紀主基屏風(大)

近江国の正月と二月の情景

後桜町天皇の大嘗会屏風。現存最古の作例として大変貴重です



ゆきひょうぶ めいわかんねんどうしゅうがつにがつしゅう
悠紀屏風 明和元年度正月・二月帖
土佐光貞筆 江戸時代・明和元年(1764) 前期展示

江戸時代の即位礼を描く図

天皇の玉座である高御座が見えます。その周囲に廷臣や女官たちが控えています



こそくいす 御即位図 (部分)
江戸時代・18世紀 後期展示

賢臣のなかには諸葛孔明も

古代中国の賢臣を描いた絵。内裏・紫宸殿の天皇の御座の背面にあります



けんじょうのそう しりょうふ 賢聖障子屏風 (部分)
住吉広行筆 江戸時代・18世紀 (8曲2双のうち1隻) 後期展示

嘗会(じょうえ)屏風)です。この屏風は、即位後の天皇が最初の11月に行う大嘗祭という最重要の祭りで用いられる特別な調度です。現存最古の明和元年度と文政元年度の大嘗会屏風をご覧いただけます。(会期中展示替えがあります)。(土屋貴裕)

※展示は前期(～12月1日(日))と後期(12月3日(火)～)の2期に分かれます。

精密な模本に広がる絢爛豪華な世界

特集 平家納経模本の世界

— 益田本と大倉本 —

本館15室 10月22日(火)～12月8日(日)

この模本ならではの女性に注目

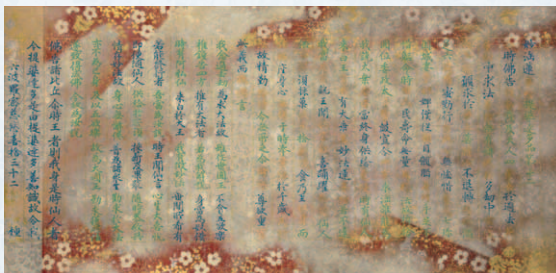
見返りに描かれた平安女性は、模本によって少しずつ違います



へいけのうきょう ごんのうほん だいにしゅうな もほん ますだほん (部分)
平家納経 殿王品 第二十七(模本)益田本
田中親美模写 大正～昭和時代・20世紀
原本:国宝・嚴島神社蔵 平安時代・長寛2年(1164)

物語を紡ぐ、一面の華美

紙の装飾にあわせて、経文を金、銀、群青、緑青で写しています



へいけのうきょう だいはいほん だいにしゅうに もほん ますだほん (部分)
平家納経 提婆品 第十二(模本)(益田本)
田中親美模写 大正～昭和時代・20世紀
原本:国宝・嚴島神社蔵 平安時代・長寛2年(1164)

100年以上前の原本の様子を伝える貴重な写真

嚴島神社所蔵の国宝「平家納経」の巻き姿を写した古写真です



いっしゅうまいじゅうさんしゅうさんかん こしゅうしん
嚴島経巻十三巻(古写真)
明治時代・19世紀 被写体現所蔵者:嚴島神社
展示期間:～11月10日(日)

平安時代末期、平清盛が嚴島神社(広島・宮島)に奉納した国宝「平家納経」の模本をご紹介します。「平家納経」は、『法華経』や清盛自筆の願文など合わせて全33巻ある装飾経の代表作です。ほとんどの巻に金箔銀箔が撒かれた上に、十二単衣の平安貴族の姿や極楽浄土の様子が色鮮やかに描かれて、平安時代の絵画遺品としても貴重です。それを大正時代、精巧に複製したのが田中親美(1875～1975)でした。5年かけて完成した模本はまず嚴島神社に奉納され、さらに制作して益田家、大倉家に全巻セットで納められました。今回は、当館に伝わる益田本と、大倉集古館蔵の大倉本を比較して、「平家納経」の絢爛豪華な世界をご覧ください。(恵美千鶴子)

特集 近世日本と外国文化

本館特別2室 11月19日(火)～12月25日(水)

江戸時代の日本は、幕府が外国との交通、貿易を厳しく統制した、いわゆる鎖国の時代だったといわれます。しかし、そのようななかでも、日本には海外の文物や情報もたらされました。

重要文化財「エラスムス立像」(栃木・龍江院所蔵)は、イギリス人航海士ウィリアム・アダムスが乗船していたオランダ船デ・リーフデ号に飾られていました。日蘭交流の端緒を象徴する彫刻です。また、日本からヨーロッパに輸出された南蛮漆器の「桔梗蝶楓鹿時絵螺鈿聖籠」には、メキシコの装飾技法「羽根モザイク」で表されたキリスト教の聖人の図が納められています。

16世紀末～19世紀の日本の対外交渉を物語る、当館所蔵・管理の作品をご覧ください。(鷲頭桂)



日蘭の国際貿易のはじまりを物語る

慶長5年(1600)、豊後国に漂着したデ・リーフデ号の船尾を飾っていました

◎エラスムス立像
1598年 栃木・龍江院蔵

南蛮貿易の主力商品だった

西洋の図像、メキシコの羽根モザイク、日本の漆器が融合した、大航海時代ならではの遺品



ききょうとうかえりしきまきえらでんせいがん
桔梗蝶楓鹿時絵螺鈿聖籠
安土桃山～江戸時代・16～17世紀

江戸幕府への献上品か 日本語の注釈にも注目

新井白石も見た、世界的に稀少な17世紀 オランダの大型壁掛地図



◎地球図
ヨアン・ブラウ作
オランダ・
アムステルダム刊
1648年
東京砲兵工廠寄贈



食欲の秋! ホテルオークラ ガーデンテラス に行ってきたほ!



ガーデンテラス
キャプテンの
草分香織さん

トーハクでは構内で食事・喫茶をお楽しみいただけます。そのひとつが法隆寺宝物館1階にある「ホテルオークラ ガーデンテラス」です。1999年7月法隆寺宝物館開館時より営業しており、オープンしてから今年でちょうど20年目になります。ガーデンテラスのメニューについて、トーハクくんがガーデンテラス キャプテンの草分さんにお話を聞きました。

秋といえば、なんといっても食欲の秋だほ! 今日はランチにガーデンテラスに行ってみよっと。

いらっしゃいませ。トーハクくん。

草分さんこんにちは! お腹すいたほー。

トーハクくん、メニューをどうぞ。当レストランは洋食メインのメニューになっています。

わーい! 色々なメニューがあるほ! 全部食べたいほー。おすすめのメニューはなんだほ?

当レストラン一番人気はビーフストロガノフです。デザートは数種類のケーキをご用意しています。



落ち着いた雰囲気の中で、ゆったりと食事を楽しめます



ビーフストロガノフ



紅茶のシフォンケーキ

とってもおいしそうだほ! トーハクならではのメニューはあるほ?

特別展ごとに、限定メニューがございます。今年の夏に開催していた特別展「三国志」では冷やし担々麺をご提供しました。

冷やし担々麺!? ガーデンテラスは洋食メインだほ?

今回は洋食の枠組みにとらわれず、中国の作品を扱った展覧会ということ、また、夏の暑い季節に冷たい麺類は食べやすいと考え、私が企画しました。ガーデンテラスでは新しい試みでした。

実は…ぼく食べたほ! ピリ辛のゴマ味噌ベースのスープとつるつとした麺がよく合っていておいしかったほ!



特別展「三国志」期間限定メニュー
ピリ辛! 冷やし担々麺
(現在は提供していません)

ありがとうございます。次の特別展「正倉院の世界」では奈良県の食材を使った料理を考えています。(※7月現在)

正倉院と言えば、螺鈿紫檀五弦琵琶が有名だほ。琵琶の形のケーキはどうだほ?

いいアイデアですね! シェフに伝えてみます。

わーい! 今後も楽しみだほ!

「ホテルオークラ ガーデンテラス」について詳しくは当館 WEB サイトをみてほ。



特別展「正倉院の世界」
とあわせて見たい!

法隆寺宝物館

クローズアップ!

光明皇后が 捧げられた鏡



◎ 海磯鏡

唐または奈良時代・8世紀
法隆寺宝物館第5室にて通年展示

特別展「正倉院の世界」にも1面展示されますが、実は海磯鏡はもう1面存在します。奈良時代の天平8年(736)2月22日、聖徳太子の命日にあたり、光明皇后は法隆寺に2面の海磯鏡を奉納しました。奈良時代に記された法隆寺の財産目録『法隆寺資財帳』によると、これらの鏡は「丈六」という仏様に捧げられたとあります。丈六とは釈迦如来の身長1丈六尺(約4メートル80センチ!!)を意味するため、おそらく金堂の本尊である釈迦三尊像に捧げられたのでしょう。あえて2つの鏡であることからすれば、太陽と月のように仏像の前で光り輝いていたのかもしれない。

赤ら顔の 酔っぱらいは ペルシアの王様



◎ 伎楽面 酔胡王

飛鳥時代・7世紀
法隆寺宝物館第3室にて毎週金曜、土曜日公開

法隆寺献納宝物には飛鳥から奈良時代にかけて制作された「伎楽面」が31面伝えられています。これらは伎楽という仮面劇に使用されたものですが、演劇そのものは鎌倉時代頃には行われなくなり、現在では幻の存在になってしまいました。ここに紹介する酔胡王は、特別展「正倉院の世界」で展示する酔胡王よりも一時代古く、現存する最古の酔胡王面です。酔っぱらったペルシアの王様をモデルにした面で、高い鼻に赤ら顔が特徴です。美味しいワインでも飲んで、よほど気持ちよく酔っぱらっているのでしょう。トロンとした目つきでニマリ笑っています。



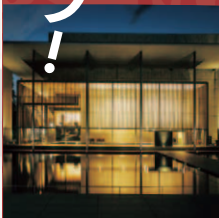
聖徳太子御愛用、 美しい敷物

(部分)

◎ 蜀江錦褥残欠 表裂

飛鳥時代・7世紀
法隆寺宝物館第6室にて10月1日(火)～27日(日)展示

法隆寺の染織品は「法隆寺裂」の名で親しまれていて、伝世品(発掘されたのではなく、人から人へ伝えられたもの)としては世界最古のものです。特に蜀江錦は法隆寺裂を代表する作品。古代の四川省一帯に存在した蜀の国は織物の名産地で、そのなかでも蜀の都、成都の流江という河で洗い上げた錦が有名であったといいます。このため、法隆寺に伝えられた美しい赤地の錦には美称として「蜀江錦」の名が付けられました。この蜀江錦は亀甲形を基本とした幾何学文様のなかに、各種の花や動物をあしらっています。法隆寺では聖徳太子がお使いになった敷物(褥)として伝えられました。



御即位記念特別展「正倉院の世界—皇室がまもり伝えた美—」では、正倉院宝物とともに、法隆寺献納宝物も同時公開することで、飛鳥から奈良時代における美術の多様性、また国際性にも視野を広げます。両宝物の代表作が勢ぞろいの特別展ですが、法隆寺宝物館に展示中の宝物も見逃せません。

珍しい金属の幡 天の羽衣に注目



(部分)

◎ 灌頂幡

飛鳥時代・7世紀
法隆寺宝物館第1室にて通年展示

幡とは仏教の儀式で使う旗のこと。基本的に幡は織物で作るのが普通なのですが、この作品は銅の板を透かし彫りして鍍金をした珍しいもの。天界から降る天人の姿が躍動的に表されていて、特に踊るような天衣(いわゆる天の羽衣)が見事です。『法隆寺資財帳』にはこの幡の奉納者として「片岡御祖命」の名があり、聖徳太子の娘である片岡女王と考えられてきました。ただ最近の研究では、敏達天皇の皇女で舒明天皇の母にあたる糠手姫皇女(片岡姫)との説が出されており、再考が迫られています。糠手姫皇女とすれば、何のために奉納したのか。さらなる謎が魅力的な作品でもあります。

Pick up!

本館

平安書跡の美の世界

国宝

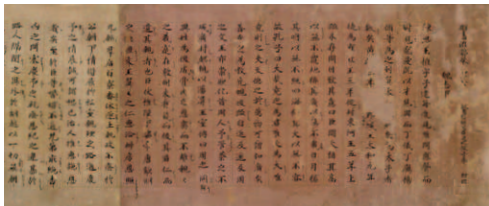
群書治要 巻第二十六

10月29日(火)～11月24日(日)

2室 国宝室

茶色や紫色などの染紙や、飛雲の装飾を施した料紙を交えて継いだ、美しい卷子本です。金泥で界線(野線)が引かれ、中国の書物『群書治要』が書写されています。

『群書治要』は、631年、唐の太宗の勅命で群書のなかから治政に関わる部分を抜き出して編纂されたもので、中国ではすでに失われた書物です。これは、日本に伝わる現存最古の写本で、全五十巻中の十三巻が、九条家に伝わってきました。平安時代に写された



(部分)

●群書治要
巻第二十六
平安時代・11世紀
染紙の色変わりと
端正な書、両方お
楽しみください

この書は、唐時代の書風を真似て謹厳な雰囲気を保ちつつ、少し柔らかみを帯びた日本人特有の書風もみえます。(恵美千鶴子)

本館

凛々しさとあどけなさが魅力

聖徳太子立像

10月8日(火)～11月17日(日)

3室 仏教の美術



聖徳太子立像
鎌倉時代・13世紀
聖徳太子が2歳のときの説話にもとづく姿です

飛鳥時代に活躍した聖徳太子の生涯には、さまざまな奇跡的なエピソードが伝わります。そして、そのときどきの年齢に応じたいくつかの姿が肖像として信仰されました。

この像はそのなかのひとつ、聖徳太子が2歳のときに東の方角を向いて合掌し、「南無仏」(仏を信仰することの意)と唱えたという説話にもとづく姿です。このことから南無仏太子ともよばれます。赤い袴を着けるのが特徴で、まるまるとした体つきは幼い子どもらしい一方、精悍な顔つきからは凛々しさが感じられることでしょう。鎌倉時代後期以降に盛んにつくられた南無仏太子のなかでもひととき優れた造形をみせます。(増田政史)

本館

三成ファン必見のひとふり

重文

脇指 相州貞宗 (号 石田貞宗)

11月24日(日)

56室 武士の装い—平安～江戸

本作の作者とされる貞宗は、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて活躍した相模国(神奈川県)の名工です。本作は無銘ですが、作風から貞宗の作と考えられ、その優れた技が発揮された傑作です。さらに、戦国武将石田三成が所持したと伝わることから「石田貞宗」といわれます。刀身に彫られた剣や梵字などの彫物は、神仏の加護が刀身や所持者に宿ることを祈ったもので、変化に富んだ刃文と相まって力強い印象を与えます。本作は刃長が30センチメートルを超えるので脇指に分類されますが、実際には短刀として用いたものです。短刀は腰刀ともいわれ、戦場だけでなく普段から常に腰に差して身を守るものなので、所持者の好みがよく表れています。(佐藤寛介)



●脇指 無銘 貞宗(号 石田貞宗)

相州貞宗 南北朝時代・14世紀
貞宗は名工正宗の子あるいは弟子といわれ、師に迫る技量の高さが知られます

本館

のびやかな感性を湛えた傑作

重文 山野行楽図屏風

10月8日(火)～11月24日(日)

7室 屏風と襖絵—安土桃山～江戸



(右隻)
●山野行楽図屏風 与謝蕪村筆 江戸時代・18世紀
俳人としても著名な蕪村。詩情あふれる傑作です

右隻では、3人の旅人が月の浮かぶ夜明け前の山野を馬に任せるまま進み、左隻では、4人の老いた高士が、童僕の手を借りながら急な山道を行くさまが描かれています。俳人、また画家として知られる与謝蕪村(1716～83)は、主に中国絵画に学び絵を描いていましたが、俳人としての感性を生かした作品を多く制作しました。本作はその代表作のひとつで、中国の故事人物を描いたと思われ、中国風の主題を、ユーモラスで俳趣あふれる描写に置き換えています。蕪村ならではの感性に満ちた詩情豊かな傑作を、この機会にぜひご覧ください。(大橋美織)

東洋館

青磁の萌芽となった釉に注目

灰釉鐘

10月8日(火)～2020年2月9日(日)
4室 中国文明のはじまり

青銅製の鐘を模した中国・戦国時代(前5～前3世紀)の灰釉陶器です。墓に納めるためにつくった器物で実用品ではありません。灰釉とは、草木の灰を水で溶かして器面に塗り、高温で焼くことによってやきものの表面に生じるガラス状の被膜で、本作には美しいオリーブ色の薄い釉がかかっています。釉の一部は剥落しており、技術的に未熟であることは否めませんが、このあと一歩という出来栄えから、私がかえって、これをつくった職人はさらに美しい作品をつくるべく意欲を燃やしたであろうと想像します。灰釉陶器から試行錯誤を経て後漢時代(1～3世紀)に青磁が生まれるに至ります。

(谷豊信)



灰釉鐘

中国 戦国時代・前5～前3世紀
当時の青銅製の鐘をかなり忠実に模しています

東洋館

品格漂う、端正な佇まい

重文 白磁金彩雲鶴文碗

通年
5室 中国の陶磁



(部分)

◎白磁金彩雲鶴文碗

中国・定窯 北宋時代・11～12世紀
伝朝鮮出土 井上恒一氏・富美子氏寄贈

金彩の痕跡だけでなく、薄く鋭く輪挽きされた精巧な形にもご注目ください

定窯は現在の河北省にあった窯で、北宋から金時代にかけて彫りや型押しで流麗な文様を施した白磁のうつわを量産しました。本作品は「金花の定碗」と呼ばれて珍重されてきた金彩のある特殊な作例のひとつです。灰色の素地に白土で化粧をして透明釉を掛けており、そこに有機物の接着剤を文様の形に置いて、うえから金箔をのせて装飾しています。いまは金がほとんど剥落していますが、その痕跡にかつての華やかな姿の名残を感じることができそうです。高麗古墓出土という伝承があることから、北宋と高麗の上流階級層の贈答品と考えられています。(三笠景子)

東洋館

含蓄のある表情は人間さながら

重文 猿図軸

10月29日(火)～11月24日(日)
8室 中国の絵画



(部分)

◎猿図軸

伝毛松筆 中国 南宋時代・13世紀

特集「中国書画精華 日本における愛好の歴史」(10月29日(火)～12月25日(水))にて展示 目には絹の裏側から金箔を、毛描には金泥線を交えています

本図は、猿を主題としながら、どこか人間の肖像画を思わせる名品として、人々に愛されてきました。その肖像画のような雰囲気は、思索にふけるようなまなざし、かたく閉ざされた口元、背を屈め、膝を抱え込む姿勢からもたらされるものでしょう。
武田信玄の書状が付属しており、1570年、信玄から比叡山延暦寺の座主に就任したばかりの覚恕法親王に贈られたと推測されています。翌年、比叡山が織田信長に焼き討ちされると、覚恕は信玄のもとに亡命しました。ふたりの友誼の深さを物語る作品ともいえそうです。(植松瑞希)

東洋館

色鮮やかにつやめく逸品

色ガラス燭台

10月29日(火)～2020年1月19日(日)
9室 清時代の工芸



◎色ガラス燭台

「乾隆年製」銘 中国 清時代・乾隆年間(1736～95年)
乾隆年間のガラス器のなかでも、多色のガラスを駆使した名品です

中国のガラス工芸の起源は非常に古く、すでに紀元前にはつくられていたのですが、これは玉の代用品とされていました。清時代になると、紫禁城にガラス工房が設立されると、ガラス工芸が飛躍的に発達し、乾隆帝の頃には多種多様なガラス器が製作されるようになります。本作品は、そのような時期に製作されたガラス製の燭台です。蠟燭を突き立てる心棒に、穴を開けた色とりどりのパーツを積み重ねており、下部には「乾隆年製」の銘が刻まれています。ガラスというと、透明感のあるイメージですが、中国では玉の代用品とされたこともあり、本作品のようないくつかのガラス器も大いに好まれました。(猪熊兼樹)

Pick up!



硬玉製大珠

縄文時代(中期)・前3000~前2000年
長野県上伊那地域出土
鮮やかな緑色はヒスイに含まれるクロムによるものです

縄文時代の装身具は、石や動物の角など素材のもつ形や色を巧みに利用し、研磨・線刻・穿孔といった技術によりつくられていました。その代表格ともいえるものが、今回ご紹介するヒスイ製の**大珠**。しっとりとした白色に鮮やかな緑色が映えるヒスイは、新潟県系魚川市を流れる姫川流域に産出したものです。姫川流域には縄文時代中期の大珠製作址も発見されており、この地で製作された大珠が各地に流通したと考えられます。興味深いことに東日本一帯から多数の大珠が出土するのは、対照的に西日本からの出土例は非常に稀で、縄文時代に既に東西差が生じていたことを示しています。(飯田茂雄)

平成館

今なお褪せない、自然の色

硬玉製大珠

2020年3月1日(日)

考古展示室

法隆寺宝物館

いにしへの音色に思いを馳せて

国宝 七弦琴

10月22日(火)・祝日 12月15日(日)

第4室 木・漆工―楽器



●七弦琴 唐時代・開元12年(724)
唐時代につくられた、製作年代と製作地がわかる最古の七弦琴

琴は筈と違い、柱(弦を支える器具)を使いません。かわりに、弦の特定の場所を指で押さえて音を変化させます。目印となるのが、13個の徽です。本作では螺鈿で徽を作り、黒漆塗りの器面に仄かな輝きを添えています。一方、器面には無数の断紋(細かい亀裂)が生じている点も注目ポイント。中国では見事な断紋は鑑賞対象となり、形状によって多彩な名が付けられました。本作の断紋は何に見えるでしょうか?

内部墨書によると、本作は開元12年(724)5月5日、九隴県(現・四川省成都市彭州市)でつくられたとされています。製作地と時代がわかる、最古の七弦琴です。(福島修)

黒田記念館

記念すべき仏デビュワー

読書

10月29日(火) 11月10日(日)

特別室

「湖畔」と並び、黒田清輝の作品のなかでもよく知られた1点です。モデルとなったのは、フランス留学中に黒田と恋仲だったマリア・ビヨール。彼女が着ている赤いブラウスは、黒田がパリで切れ地を探し回り、とくに仕立てさせたものだとか。師ラファエル・コランのすすめもあり、この作品を黒田はサロン(展覧会)に出品し、初入選を果たします。鎧戸から射しこむ柔らかな光につつまれ読書するマリアの姿を、コランのもとで培った堅実な描写力により描き出すことで、黒田はフランスでの画壇デビューを飾ったのです。

(東京文化財研究所・塩谷純)



読書 黒田清輝筆 明治24年(1891)
窓辺で頁を繰りながら本に目をやる女性像。「読書の秋」にふさわしい黒田の代表作です

トーハクの調査研究 ④

ついに修理完了! 「埴輪 挂甲の武人」最新情報

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

2017年3月から修理をしていた国宝「埴輪 挂甲の武人」が、2019年6月に修理を終えました。修理をするうえで最大の課題であったのが、左手に持つ弓の復元でした。修理前の状態では、弓の上半分がありません。上半分がないのはあまりに不自然なので、弓の先端を全部復元する場合、どこまで弓が伸びるのが問題でした。クーニング後に改めて観察すると、頬当に弓の先端が剥離した痕跡がかすかに残っており、弓の位置を確定することができました。次に問題となったのは、弓の先端形状の復元です。そこで同時代の武人埴輪が持つ弓の類例を集め、埴輪の研究者と協議を重ね、もつとも妥当な形を決めました。展示公開日は現在検討中ですが、できるだけ早く新たな弓を携えた「挂甲の武人」をお披露目できればと考えています。(河野正訓)



修理前の「埴輪 挂甲の武人」。赤丸の範囲が、弓の先端が剥離した場所です

※本修理はバンクオブアメリカ・メリルリンチ文化財保護プロジェクトからの助成を受けて実施しました。

11月 展示案内

- 4
- 3-3
- 3-2
- 3-1
- 2

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸

- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



10/8(火)-11/24(日)

◎山行楽園屏風

与謝蕪村筆 江戸時代・18世紀(→7ページ)



(右隻)

◎山水図屏風

吳春筆

江戸時代・18世紀

光沢のある素材に淡彩を用いて爽やかな秋を表現しています



-10/27(日)

◎草花時絵菓子器

谷田忠兵衛作 江戸時代・18世紀
伊藤甲子之助氏寄贈



10/29(火)-2020/1/26(日)

◎源氏絵彩色貝桶

江戸時代・17世紀

貝合わせの貝を入れる貝桶は、大名の婚礼における重要な調度でした



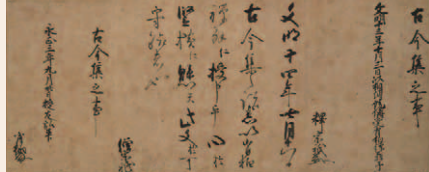
7

10/8(火)-11/17(日)

◎古今伝授書

飯尾宗祇筆 室町時代・15世紀

飯尾宗祇が「古今和歌集」解釈を伝授した3通の証明書です



10/22(火)-11/17(日)

◎たけくらべ草紙

春と秋、月の夜と雪の朝など、二つのものの優劣を歌で定めた物語です



(部分)

3-3

10/8(火)-11/17(日)

◎山水図

伝周文筆 竺雲等連賛

室町時代・15世紀

山本達郎氏寄贈

「枯淡」という言葉がぴったり。味わい深い通好みの水墨画です



(部分)

11/19(火)-12/25(木)

◎四季山水図屏風

楊月筆 室町時代・15世紀

(部分)

-12/1(日)

◎黒染梯子文筒茶碗

道入作 江戸時代・17世紀

樂家三代の作。深い筒形の胴部に刻まれた梯子の絵が印象的です



◎織部扇形向付

美濃 江戸時代・17世紀



4

-11/17(日)

◎白糸威二枚胴具足

江戸時代・17世紀

徳川義寛氏寄贈



5-6

-11/24(日)

◎脇指 相州貞宗(号 石田貞宗)

南北朝時代・14世紀

貞宗は14世紀の神奈川県の名工で、この脇指は16世紀の武將・石田三成の用いたものとされます(→7ページ)



本館 2F: 1~10

1-1

-12/25(木)

◎袈裟褌文銅鐸

弥生時代(後期)・1~3世紀

滋賀県野洲市小篠原字大岩山出土

鳴り物としての機能を失い、儀器的な性格が高められた装飾性の高い銅鐸です



◎埴輪 猿

古墳時代・6世紀

伝茨城県行方市 大日塚古墳出土



1-2

-12/25(木)

◎菩薩立像

飛鳥時代・7世紀

極端に薄い体や、左右にひろがる衣などから、中国の金銅仏を模したと考えられます



◎銅獅子鎖柄香炉

奈良時代・8世紀



2

10/1(火)-10/27(日)

◎十六羅漢像

平安時代・11世紀

平安時代11世紀の数少ない絵画作品のひとつです。彩色の美しさが見どころです



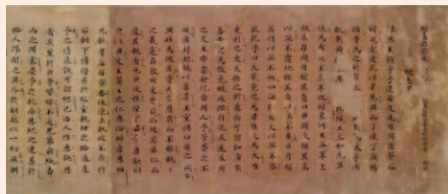
(第十尊者)

10/29(火)-11/24(日)

◎群書治要 卷第二十六

平安時代・11世紀

唐時代に編纂された治世学の書の最古写本。装飾料紙に優美な楷書で書かれています(→7ページ)



(部分)

3-1

10/22(火)-11/17(日)

◎聖徳太子絵伝

南北朝時代・14世紀

川合玉堂氏寄贈

穏やかな色彩が美しい中世の作例。法隆寺宝物館での国宝絵伝の展示に合わせた展示です



(部分)



11/19(火)-12/25(木)

◎毘沙門天図像

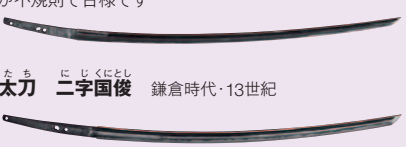
平安時代・12世紀

群像表現が特徴的な、異国風の強い毘沙門天像。線描の味わいをお楽しみください

10月 本館展

10/1(火)-11/4(月) 13-2

◎**太刀 古備前友成**
平安時代・11～12世紀 山本達郎氏寄贈
岡山県東南部で活躍した友成は、日本で鎧がつぎ、反りのある刀剣が生まれた頃の刀工です。この太刀は、焼刃の様子が不規則で古様です



◎**太刀 二字国俊** 鎌倉時代・13世紀

-10/20(日) 10 浮世絵

◎**北國五色墨・おいらん**
喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀
洗い髪を乾かしながら文を書く花魁。愛しい人への恋文でしょうか



10/22(火)祝-11/17(日) 10

◎**名所江戸百景・猿わか町よる景**
歌川広重筆 江戸時代・安政3年(1856)
江戸の芝居小屋が集められた猿若町の夜景。明暗の表現がみどころです



-11/4(月) 13-3

◎**錆絵染付龍田川図磁子**
京焼・御善薩池 江戸時代・18世紀
秋の意匠龍田川を染付と錆絵で繊細に描いた、京焼らしい雅な作品です




◎**瑠璃地染付蓮図水指**
伊万里 江戸時代・17世紀




-10/20(日) 10 衣装

◎**小袖 白輪子地大菊波模様**
江戸時代・18世紀



10/22(火)祝-12/25(水) 10

◎**小袖 白輪子地枝垂楓笠模様**
江戸時代・18世紀
日本の和歌を題材にした王朝模様は、元禄期に流行しました



-12/8(日) 14

◎**反鉢**
備前 江戸時代・17世紀
一部が立ち上がる縁。窯変によってできた丸文が目を引きま




◎**耳付花入**
伊賀 江戸時代・17世紀



本館 1F: 11~16, 18

-10/20(日) 15

◎**根府川通見取絵図**
道中奉行所編 江戸時代・文化3年(1806) 浅草文庫旧蔵
(熱海村部分)



10/22(火)祝-12/8(日) 15

◎**平家納経 嚴王品 第二十七(模本) 益田本** 田中親美模写
大正～昭和時代・20世紀
原本：国宝・嚴島神社所蔵 平安時代・長寛2年(1164)
精巧に作られた模本、日輪の風景の下絵が華やかです(→4ページ)



-12/8(日) 11

◎**不動明王立像** 平安時代・11世紀



◎**千手観音菩薩坐像**
南北朝時代・14世紀
千本の手を四十二本で表現しています。台座、光背に至るまで制作当初のものが残ります



10/8(火)-11/24(日) 8-2

◎**一行書「積徳厚自受薄」**
良寛筆 江戸時代・19世紀 竹内静子氏寄贈
草書の筆画が最小限にまで省略され、文字の造形性が際立つ作品です



◎**松巒古寺図**
田能村竹田筆 江戸時代・天保3年(1832)頃
竹田が生涯の友・頼山陽の依頼で制作した作品。繊細な筆致がみどころです



-12/8(日) 16

◎**アイヌ鍬形**
北海道栗山町角田字桜山出土 北海道アイヌ 19世紀
尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈



10/29(水)-12/8(日) 16

◎**王子冠** 沖繩本島 第二尚氏時代・19世紀 比嘉カマト氏寄贈
琉球の王子が身に着けた冠。赤の絹地に金糸や色糸で文様を描きます



-12/8(日) 12

◎**檜扇紋散蒔絵手箱**
鎌倉時代・13世紀

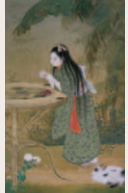


◎**印籠意匠紙箱**
笠翁細工 江戸時代・18世紀 クインシー・A.シヨー氏寄贈
奇抜な意匠と、実際に印籠があるかのような錯覚を生む技術が見どころ




10/22(火)祝-12/8(日) 18

◎**秋苑** 寺崎広業筆 明治32年(1899) 奈良淳一郎氏寄贈
秋の気配に満たされる庭で、編み物をする少女は何を思うのでしょうか



-10/20(日) 18

◎**高秋露月** 長野草風筆 大正15年(1926) 笹沼千代子氏寄贈



-11/4(月) 13-1

◎**金銅火焰玉珠形舍利容器**
鎌倉時代・13世紀
舍利は釈迦の遺骨で、それに見立てた貴石を豪華な容器に納めて崇めました



◎**木製彩色胡蝶舞図華菱**
室町時代・16世紀 和歌山県丹生都比売神社伝来



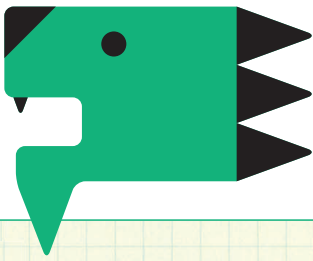
-10/20(日) 9

◎**唐織 濃茶茶浅葱段秋草模様**
江戸時代・18世紀 上杉家伝来



◎**能狂言絵巻 下巻の内「柏崎」**
筆者不詳 江戸時代・18世紀 全3巻からなる、能の場面を表した絵巻です (部分)





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「焼き締め茶陶の美」

日時：10月5日(土) 13:30~15:00
講師：横山梓(保存修復室研究員)

日本の独創的な美意識が生んだ焼き締めの茶陶。個性豊かな作品を通じて、その魅力に迫ります。

月例講演会「江戸時代の美術に見る東西交流」

*関連展示：本誌5ページ
日時：11月30日(土) 13:30~15:00
講師：鷲頭桂(絵画・彫刻室主任研究員)

江戸時代、日本には外国から様々な文物がもたらされました。今回は西洋との繋がりを示す作品をご紹介します。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

平家納経(模本)の世界

*関連展示：本誌4ページ
日時：10月29日(火) 14:00~14:30 本館15室
講師：恵美千鶴子(百五十年史編纂室長)
田中親美が制作した国宝「平家納経」(広島・嚴島神社蔵)の精巧な模本。そのうち益田家と大倉家の伝来本を比較し、魅力をご紹介します。

国宝「聖徳太子絵伝」一微笑みの太子に出会う

*関連展示：本誌3ページ
日時：11月1日(金) 18:30~19:00 法隆寺宝物館第6室
講師：沖松健次郎(絵画・彫刻室長)、高木結美(文化財活用センター企画担当専門職)
肉眼では見ることのできない絵の細部まで映し出す映像アプリケーションを用いて、およそ千年前に描かれた国宝「聖徳太子絵伝」と、聖徳太子の魅力に迫ります。

古代オリエントの工芸品

*関連展示：本誌2ページ
日時：11月12日(火) 14:00~14:30 東洋館3室
講師：小野塚拓造(平常展調整室研究員)
特別展「人、神、自然—ザ・アール・サーニ・コレクションの名品が語る古代世界—」より、普段とは一味違う作品から、西アジアやエジプトの古代文化についてお話しします。

木で造られた日本の彫刻の保存と修理

*関連展示：本誌2ページ
日時：11月19日(火) 14:00~14:30 本館特別5室
講師：野中昭美(保存修復室研究員)
修理が行われた仏像や神像を解説しながら、文化財を守り伝える取り組みについてお話しします。

文化財を守るのも
いろんな人の努力が
必要なんだほ



ボランティア活動を始める前に、知っておきたいこと

日時：11月26日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：鈴木みどり(ボランティア室長)
年1回募集するボランティアの活動内容と、開催目前のボランティアの楽しみ方についてご紹介します。

ボランティアデーについては13ページをご覧ください！



事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

連続講座「出雲と大和」

日本書紀成立1300年記念 特別展「出雲と大和」(本誌2ページ参照)をより深く理解していただくための講座です。2日間(全6講)ご参加いただける方が対象です。

- ◆ 2020年1月24日(金)
 - 第1講 13:30~14:30
「弥生絵画を鑑賞する—近畿と山陰地方の弥生絵画の比較を通して—」
橋本裕行(奈良県立橿原考古学研究所 企画部企画課長)
 - 第2講 14:45~15:45
「最新技術で眺める大和の古墳」
西藤清秀(奈良県立橿原考古学研究所 技術アドバイザー)
 - 第3講 16:00~17:00
「仏教の伝来と仏像の造像」
皿井舞(当館 平常展調整室長)
- ◆ 2020年1月25日(土)
 - 第4講 13:30~14:30
「古代出雲における青銅器の特質」
増田浩太(島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)
 - 第5講 14:45~15:45
「日本海文化としての出雲の古墳時代—考古学から見た地域王国論—」
河野一隆(当館 調査研究課長)
 - 第6講 16:00~17:00
「出雲大社巨大本殿と古代出雲世界」
松尾充晶(島根県古代文化センター 専門研究員)

会場：平成館大講堂(受付開始は13:00予定)
定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。その場合は、初日の入館料が必要。2日目は初日にお渡しする受講券でご入館いただけます。なお、受講券で特別展の観覧はできません。)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。
往復はがきの場合は、「往信用裏面」に①参加者全員(最大2名まで)の氏名・ふりがな、②代表者の郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
*1回の入力もしくは1枚のはがきで、最大2名まで申込可。
*2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係
申込締切：11月28日(木)必着
※10月1日(火)の郵便料金改定に伴う、往復はがきの切手不足にご注意ください。
お問合せ：03-3822-1111 (代) 教育講座室

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。
実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL：03-3822-1111 (代)
*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみに使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。
*▶は「ヒアリンググループ」対応、▶▶は「UDトーク」対応のイベントです。

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

ワークショップ 日本文化との出会い「書体験」

日本文化を代表する書に親しむ第一歩。トーハク所蔵の作品をお手本に、きれいな色紙に一文字、筆ペンで書いてみましょう。書く体験をしたあとは、もっと楽しく書を鑑賞できるはず！

日時：10月8日(火)～10月20日(日) 11:00～16:30 (受付は11:00～16:00)
会場：本館2階ラウンジ 定員：毎日150名 当日受付。事前申込は不要。
参加費：100円(高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

※以下全て 事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ワークショップ 「屏風体験！」

屏風はむかしどのように使われていたのか、展示室ではなく部屋に置いた屏風はどう見えるのか、当館のお茶室で体験します。キャノン株式会社と京都文化協会による「綴プロジェクト」で作られた高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。

日時：11月24日(日) ①10:00～12:30、②14:00～16:30
会場：本館展示室および応接館
対象：①小学生～中学生およびその保護者

②高校生以上(1回の入力で2名まで申込可)
定員：①10組 ②20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
主催：東京国立博物館、キャノン株式会社
申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。
申込締切：11月12日(火)必着

ファミリーツアー&子どもツアー 「トーハク劇場へようこそ！」

古い歴史をもったものがたくさんある、法隆寺宝物館の展示室を舞台にした演劇形式のツアーです。お芝居を観に行くような気分で楽しんでください。

ファミリーツアー(小学1～3年生とその保護者)

(A) 11月30日(土) 11:00～12:00 (B) 12月1日(日) 11:00～12:00

子どもツアー(小学4～6年生)

(C) 11月30日(土) 14:00～15:00 (D) 12月1日(日) 14:00～15:00

対象：(A)(B)は小学1～3年生とその保護者、
(C)(D)は小学4～6年生(保護者の見学者)

定員：(A)(B)各10組、(C)(D)各20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。
※子どもツアー(C、D)は対象年齢内であれば、1回の入力で3名まで申込可。
申込締切：11月13日(水)必着

ワークショップ 「友禅染に挑戦」

布に模様を染める技法のひとつ、友禅。絹地に、筆や刷毛を使って色を挿し、華やかな模様をつくり出してみませんか？

日時：12月14日(土) ①10:00～12:30 ②14:00～16:30
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①小学4年生～中学3年生とその保護者のペア ②高校生以上
定員：①10組20名 ②15名(いずれも応募者多数の場合は抽選)
参加費：3,000円(高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。
*①②ともに1回の入力で2名まで申込可。
申込締切：①②ともに11月27日(水)必着
*①は2名でひとつ、②は1名ひとつずつ作品を作ります。

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) 教育普及室 *インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ ボランティアデー特別企画 勾玉作り体験

通常子どもたちを対象に実施している定番プログラム「勾玉作り」を、大人の方に短縮バージョンで体験していただきます。

日時：12月8日(日) 12:00～13:00
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：高校生以上 定員：20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームから往復はがきでお申込みください。
往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(最大2名まで)の氏名・ふりがな、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込締切：11月11日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り体験」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室

12月7日・8日 東博ボランティアデー 2019

トーハクでの時間を、お客様に「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために、当館では約150名のボランティアが活動しています。12月7日(土)・8日(日)の「東博ボランティアデー」では、2日間にわたりボランティアによるさまざまな催しを行います。博物館のボランティアに興味がある方はぜひご参加ください。

◆ボランティア活動紹介ツアー

現役ボランティアの案内で活動場所めぐり、ボランティア活動の内容ややりがいについて知ることのできるツアーです。少人数のグループに分かれるので、疑問や不安に思うことなど、ボランティアに気軽に聞きたいいただけます。

時間：10:30～11:30、13:30～14:30、15:00～16:00
(随時受付、ツアー時間は30分程度)

受付：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆ボランティア募集説明会

ボランティアに応募をお考えの方に、ボランティアの趣旨と概要、応募方法について職員がご説明します(応募に際し、参加必須ではありません)。

時間：両日とも10:00～10:30、13:00～13:30、14:30～15:00、
16:30～17:00 (すべて同内容)

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆ボランティアによるガイドツアー

12月7日(土)：たてもの散歩ツアー、英語ガイド、樹木ツアー、東洋館ツアー、庭園茶室ツアー、浮世絵ガイド、刀剣・武士の装いツアー、陶磁ガイド、

本館ハイライトツアー、彫刻ガイド、考古展示室ガイド、法隆寺宝物館ガイド
12月8日(日)：考古展示室ガイド、お茶会、東洋館ツアー、アートスタジオ、本館ハイライトツアー、近代の美術ガイド、英語ガイド、浮世絵ガイド、彫刻ガイド、法隆寺宝物館ガイド

*ガイドツアーの集合場所、時間などの詳細は、本誌次号のカレンダー(16ページ)、当館ウェブサイト、当日の館内案内をご覧ください。

*ボランティアデーの催しは、お茶会を除いて参加無料。ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要。

*お茶会(各回先着15名)、庭園茶室ツアー(先着18名)は当日9:30から、本館1階エントランスで整理券を配布。

*アートスタジオは事前申込制。詳細は上の欄をご確認ください。

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室

令和2年度 ボランティア募集のお知らせ

令和2年(2020)4月から3年間の任期で活動するボランティアを約50名募集します。東博ボランティアデーでは、募集説明会を行いますので、お気軽にご参加ください(高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)。応募受付は、12月9日(月)～令和2年1月9日(木)です。あなたもトーハクでボランティアをしてみませんか？
詳細は、当館ウェブサイトでご案内します。

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室



モノと人をつなぎたい!

博物館に展示されている文化財を作った人や使っていた人が、実際に目の前に現れて、語りだしたとしたら、どうでしょう。ワクワクしますよね。遠い昔に作られた展示作品が、もっと愛おしく、そして身近に思えてくるのではないのでしょうか。そう考えて、今号でもご紹介している演劇形式のツアー「トーハク劇場へようこそ!」(13ページ参照)



法隆寺をつくったあの人!?

をつくりました。プロの役者さんが歴史上の人物になって話してくれる、楽しいツアーです。モノ(文化財)とそれを見る人、作った人、保存してきた人の存在をもつないでいく教育プログラム、ぜひご体験ください!

(教育普及室長・藤田千織)

特別展チケットプレゼント



日本書紀成立1300年 特別展「出雲と大和」(2020年1月15日(水)~3月8日(日)→2ページ)無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は12月10日(火)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース10-11月号」プレゼント係

台東区の伝統工芸職人展

毎年好評の「台東区の伝統工芸職人展」を今年も開催します。日程は11/26(火)~12/1(日)、詳細はウェブサイトをご覧ください。

『MUSEUM』681号(2019年8月15日発行)の掲載論文

- ①「宝林印の鷹図」四宮美帆子(大倉集古館学芸員)
- ②「『研究ノート』平成二十九年度新収の倭鏡とその類似品——倭鏡製作の一断面——」加藤一郎(宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室主任研究官)
- ③「『資料紹介』東京国立博物館所蔵のチベット仏教美術を整理して——『ヴァジュラーヴァリー』曼荼羅集と六品楼仏像の断片を中心に——」田中公明(公益財団法人 中村元東方研究所専任研究員・東京国立博物館客員研究員)
- ④「『表紙解説』播鉢形水指」横山梓(東京国立博物館保存修復室研究員)

お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL: 03-5244-5723)

定価: 1,543円(税込)

TNM & TOPPANミュージアムシアター

VR作品「正倉院——時を超える想い」10月9日(水)~12月22日(日)



およそ1250年前、東大寺の旧境内に立てられた巨大木造建築、正倉院「正倉」。聖武天皇の遺愛品などを納めた「正倉」には、世界に類を見ない約9,000点もの宝物が時を超えて現代に伝えられています。その始まりは、愛する者を失った一人の女性の祈りでした。「正倉」はいかにして迫り来る消失の危機を逃れ、「螺鈿紫檀五絃琵琶」に代表される数々の宝物の輝きを伝えてきたのでしょうか? そこには驚くべき知恵と不断の努力でそれらを守ろうとする人々の想いがありました。VRならではの視点で正倉院宝物の長期保存の謎に迫ります。

料金: 一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円、未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演出・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイト(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- 11月3日(日・祝)・4日(月・休)は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館)、年末年始(12月26日(木)~2020年1月1日(水・祝))

- 10月15日(火)、2020年3月30日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 10月22日(火・祝)、11月3日(日・祝)は、総合文化展のみ観覧無料



最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は11月10日(日)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度
口座番号: 00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報は、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当
*月曜~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日は除く)
FAX 03-3821-9680

1 火	🏠 11:00	特別企画「文化財よ、永遠に」 博物館でアジアの旅
2 水		
3 木	🏠 東 11:00	
4 金	夜間開館(21:00まで) 🏠 「気軽に椅子ヨガin 東洋館」11:00、13:30、15:00*1 法 15:00	
5 土	夜間開館(21:00まで) 🗨 「焼き締め茶陶の美」13:30 平成館大講堂 🌳 11:00 🏠 本 14:00 🏠 彫 15:00	
6 日	🏠 13:30 🏠 考 14:30	
7 月	休館日	
8 火	🏠 スペシャルツアー「絵画に表現された愛」14:00 受付場所:東洋館1階エントランス W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 トーハクくん誕生日 🎂👶	
9 水	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 ユリノキちゃん誕生日 🎂👶	
10 木	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 庭 11:00	
11 金	夜間開館(21:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 英 14:00 ♪まちなかコンサート 17:00、18:00 本館大階段*3	
12 土	夜間開館(21:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 陶 14:30	
13 日	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 近 13:00 浮 14:00 🏠 彫 15:00	
14 月・祝	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2	特別展「正倉院の世界」
15 火	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2	
16 水	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2	
17 木	W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2	
18 金	夜間開館(21:00まで) W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 🌳 11:00	
19 土	夜間開館(21:00まで)【文化財】シボジウム「文化財よ、永遠に—文化財修理の最前線」13:00 平成館大講堂 W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 庭 11:00 本 14:00 法 15:00	
20 日	【正倉院】🗨「正倉院をまもる」13:30 平成館大講堂 W「書体験」11:00~16:30 本館2階ラウンジ*2 英 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30	
21 月	休館日	
22 火・祝	総合文化展 無料観覧日	
23 水		
24 木	本 14:00	
25 金	夜間開館(21:00まで)	
26 土	夜間開館(21:00まで) 近 13:30	
27 日	彫 15:00	
28 月	休館日	
29 火	G「平家納経(模本)の世界」14:00 本館15室	秋の庭園開放
30 水		
31 木		

🏠 = 「博物館でアジアの旅」関連事業。詳細は前号4-5ページ

- 🗨 = 月例講演会等、詳細は本誌12ページ
- G = ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- W = ワークショップ、詳細は本誌13ページ
- 👶 = 託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
- 🏠 = ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制 詳細は前号13ページ ※10/6の申込みは締め切りました
- 本 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館2階1室入口
- 浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館10室
- 陶 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:10/12は本館13室、11/9は本館4室
- 彫 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館11室、10/5・10/13は東洋館1階エントランス
- 🌳 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館玄関
- 考 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口、10/6は東洋館1階エントランス

1 金	夜間開館(21:00まで) G「国宝『聖徳太子絵伝』—微笑みの太子に会う—」18:30 法隆寺宝物館第6室 法 15:00	
2 土	夜間開館(21:00まで) 🌳 11:00 本 14:00	
3 日・祝	夜間開館(21:00まで) 留学生の日*4 総合文化展 無料観覧日 考 14:30	
4 月・休	夜間開館(21:00まで)	
5 火	休館日	
6 水		特別展「ザ・アール・サーニコレクション」
7 木	東 11:00	
8 金	夜間開館(21:00まで) 英 14:00	
9 土	夜間開館(21:00まで) 陶 14:30	
10 日	近 13:00 浮 13:30 浮 14:00 彫 15:00	
11 月	休館日	
12 火	G「古代オリエントの工芸品」14:00 東洋館3室	
13 水		
14 木	庭 11:00	
15 金	夜間開館(21:00まで) 🌳 11:00	
16 土	夜間開館(21:00まで) 庭 11:00 本 14:00 法 15:00	
17 日	【正倉院】🗨「正倉院宝物研究の最前線」13:30 平成館大講堂 東 11:00 茶 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30	
18 月	休館日	
19 火	G「木で造られた日本の彫刻の保存と修理」14:00 本館特別5室	
20 水		
21 木		
22 金	夜間開館(21:00まで)	
23 土・祝	夜間開館(21:00まで) 近 13:30	
24 日	W「屏風体験!」10:00~12:30、14:00~16:30 応挙館*5 彫 15:00	
25 月	休館日	
26 火	G「ボランティア活動を始める前に、知っておきたいこと」14:00 本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)	
27 水		
28 木	本 14:00	(12/1まで)
29 金	夜間開館(21:00まで)	(12/8まで) (2020/2/9まで)
30 土	夜間開館(21:00まで) 🗨「江戸時代の美術に見る東西交流」13:30 平成館大講堂 W「トーハク劇場へようこそ!」11:00~12:00、14:00~15:00 法隆寺宝物館*5	

【文化財】=特別企画「文化財よ、永遠に」関連事業。(申込みは締め切りました)
 【正倉院】=特別展「正倉院の世界」関連事業。(申込みは締め切りました)
 *1=申込みは締め切りました *2=有料イベント。詳細は本誌13ページ *3=詳細は前号14ページ *4=詳細は本誌14ページ *5=事前申込制。詳細は本誌13ページ

- 法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
- 茶 = ボランティアによる応挙館での茶会、整理券配布場所:本館1階エントランス(9:30から整理券配布、参加費500円、各回先着15名)
- 庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、整理券配布場所:本館1階エントランス(9:30から整理券配布、先着18名)
- 英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館2階1室入口
- 庭 = ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館玄関
- 近 = ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館18室
- 浮 = ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館2階1室入口
- 東 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(10/3は「東洋館ハイライト アジアの旅特別バージョン」、それ以外は「東洋館ハイライトツアー」をご案内します)
- 藝 = 藝大大学院インターンによるギャラリートーク。(※10・11月は休止します)
 ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります